

# 第106期 事業報告書

平成24年4月1日 ⇒ 平成25年3月31日  
(2012.4.1 ⇒ 2013.3.31)

## Contents

- P1 トップメッセージ・財務ハイライト
- P3 営業概況
- P5 連結財務諸表
- P7 財務諸表（ご参考）
- P8 トピックス
- P9 会社概要・株式状況



技術とサービスの追求で世界に感動を

営業 業 力  
技 術 力  
現 場 力

今年はこちら  
三つのキーワードを  
意識し活動します。

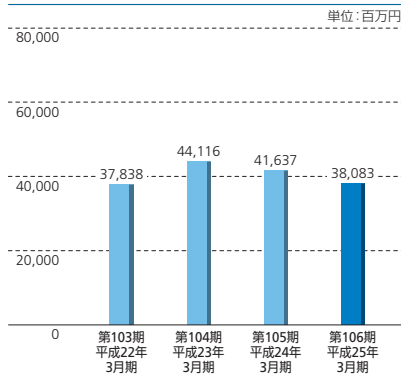


取締役社長

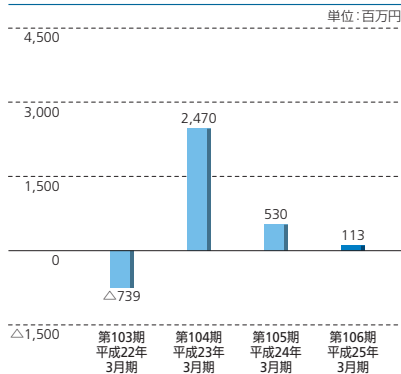
西 政 博

◆ 財務ハイライト

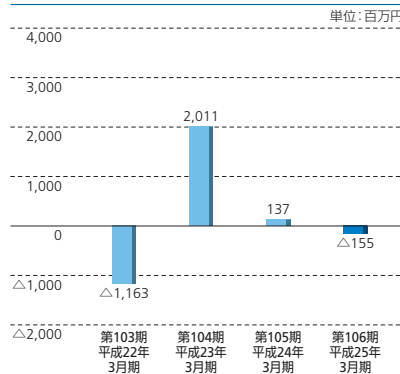
売上高



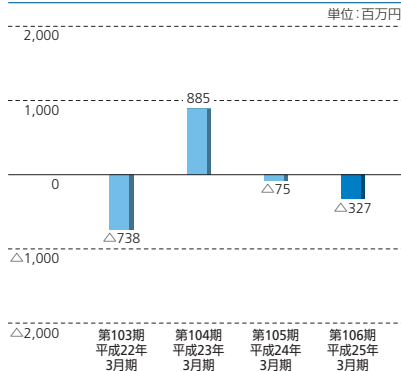
営業利益又は損失 (△)



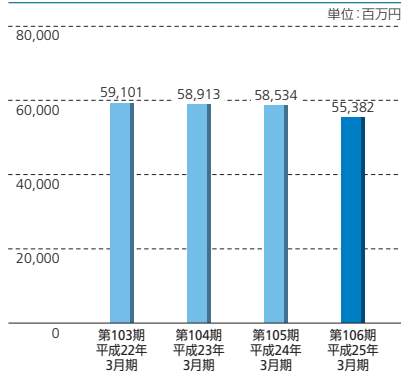
経常利益又は損失 (△)



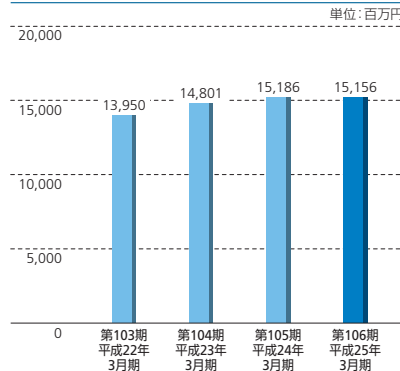
当期純利益又は損失 (△)



総資産



純資産



## ➤ 当期の経営成績と業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度のわが国経済は、欧州景気減速、尖閣問題による中国での日本製品不買運動などの影響で、第3四半期以降、景気の減速が加速しましたが、第4四半期では、米国の景気回復期待や新政権誕生以降の金融緩和をはじめとした政策変更による円安・株高修正により、景気回復への兆しが見られたものの、实体经济への波及効果はまだ充分とはいえない状況にあります。

ステンレス業界においても、復興需要や電力不安への対応などから建材、ガス・石油器具向けなど国内需要は回復傾向にありますが、国外向けに関しましては、直近の円安により輸出環境改善の兆しがあるものの、国際的な供給過剰による競争激化と市況低迷や、欧州・中国向け自動車需要不振など、依然厳しい受注環境にあります。

当社グループは、このような状況のもと、新鋭設備導入・新技術開発による差別化製品拡販と、既存設備改善・合理化設備導入による省人化と費用削減を推進しておりますが、主力としている自動車用途及び電子機器用途における需要減の影響を受けた販売数量減により、収益が大きく悪化することとなりました。

その結果、当連結会計年度の連結業績につきましては、売上高は前期と比べ35億5千4百万円（8.5%）減収の380億8千3百万円となりました。損益面につきましては、営業損益は前期と比べ4億1千6百万円減益の1億1千3百万円の利益、経常損益は2億9千3百万円減益の1億5千5百万円の損失となりました。当期純損益は、繰延税金資産取り崩しの影響があり、3億2千7百万円の損失となりました。

## ➤ 第106期の利益配当について

当期の期末配当につきましては、当期の業績及び足下の業況を踏まえまして、誠に遺憾ながら見送りとさせていただきますことといたしました。株主の皆様には大変ご迷惑おかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## ➤ 今後に向けての取り組み

当社グループは、次の四つの課題に取り組むことで社会的責任を果たしてまいります。

- 1) ユーザーに密着した生産・販売体制の強化  
お客様に密着しコミュニケーションを充実させ、ニーズに応える生産と販売の体制を作り上げていく。
- 2) 独自の塑性加工技術の深化  
当社グループの所有する固有の塑性加工技術をみがき帯鋼・加工品・マグネの各部門で追求し磨きをかけ、製品の差別化と競争力強化を推進する。
- 3) 新事業の本格稼働と絶え間ない創出  
新事業として、極薄珪素鋼と自動車部品用高精度異形鋼の国内における新ライン及びタイ加工品工場とマレーシアみがき帯鋼新工場の海外生産拠点の本格稼働。  
今後もお客様のニーズを汲み取り素早く製品化し、新しい市場の継続的な創出を推進する。
- 4) 業務効率化によるグループ総合力の強化  
既に導入済或いは今後導入する省人化設備やシステムソフトを最大限活用し、グループ会社へも横展開を図り、グループ総合力を強化する。

## ➤ 次期の見通し

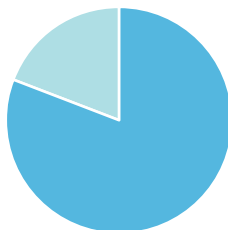
わが国経済は、政府による経済対策や円高是正などで、景気回復への環境が整いつつありますが、上半期は依然厳しく、期央からその効果や新規受注品の売上寄与が予想されますため、半期の売上高191億円（経常損失6千万円、中間純損失1億5千万円）、通期の売上高408億円（経常利益6億5千万円、当期純利益5億円）を予想しております。

当社グループといたしましては、収益基盤の確立を目指し活動してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ⇒ セグメント別概況

### ◆ みがき帯鋼部門

売上高比率  
**80.9%**



冷間圧延ステンレス鋼帯におきましては、中国、台湾、韓国など新興国ステンレスメーカーの当社市場参入により、競争が激化するなか、品質とコストに対する競争力を強化した新製品主体にソリューション営業を展開し、国内外での拡販を推進しましたが、自動車向けステンレス部品の中国・欧州向け直接・間接輸出及びハードディスクドライブ関連やスマートフォン関連の受注が大幅に

減少し、大変厳しい受注環境となりました。

みがき特殊帯鋼におきましては、中国向け間接輸出を中心に自動車向けの受注は減少いたしました。刃物関連の受注は堅調に推移いたしました。

マグネシウム合金帯におきましては、パソコン向けやスマートフォン向け筐体用途などの需要が予想を下回りましたため、受注が減少いたしました。

以上の結果、みがき帯鋼部門の売上高は、前期と比べ26億8千9百万円（8.0%）減収の308億4千6百万円となりました。

## 海外二拠点目のコイルセンター～日本金属マレーシア

東南アジア地区での販売競争力強化のためにマレーシアにコイルセンター子会社を設立いたしました。

稼動を目前に控え、現在鋭意準備中です。

### 【日本金属マレーシアの概要】

正式商号：Nippon Kinzoku (Malaysia) Sdn. Bhd.

立地：マレーシア国ジョホール州ジョホールバル

規模：敷地面積（レンタル） 約4,000㎡

工場建屋面積（レンタル） 約1,900㎡

設備：切断機2機、その他付帯設備

能力：200トン／月（平均板厚0.20mm時）

人員：11名（うち日本人3名）

稼動開始：2013年7月予定



完成イメージ

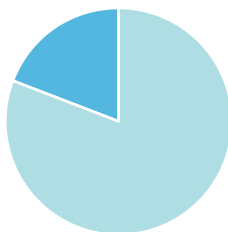


工場中の様子

## ◆加工品部門

売上高比率

19.0 %



加工品部門におきましては、自動車向け製品の中で、燃焼補助部品に使用される耐熱精密細管や排ガスセンサ一用精密細管が欧州の景気減速による需要低迷で受注が減少し、また、新規事業の駆動部品用高精度異形鋼は、品質条件の改善などで量産時期の繰り下げが生じたことで既存品の落ち込み分をカバーすることが出来ず、自動車向け全体として売上げが減少いたしました。一方、

タイ王国での建材向けロール成形品などの生産・販売は堅調で、新規受注品の量産立上げやそれらの増産に備えた工場の拡張工事も順調に進んでおります。

以上の結果、加工品部門の売上高は、前期と比べ8億6千5百万円(10.6%)減収の72億3千6百万円となりました。



## ロジャナ工場を拡張～日本金属タイランド

完成イメージ

日本金属タイランドでは、現在、バンコクの北方約30kmに位置するビッグランド工場加工品生産を行っています。

大洪水の影響は受けましたが、同工場自体は被害もなく順調に生産を伸ばしています。また、拡販活動の成果もあり、新規受注を案件を獲得できる見込みとなりました。

これらのことから、現在の工場では能力が不足しますので、バンコクの北方約70kmに位置するロジャナ工場を拡張し、設備の増強に加えて営業開発要員の常駐を行うことにいたしました。

完成稼働は2013年7月を予定しています。現在の加工品製造拠点でありますビッグランド工場は、加工品の集配拠点として活用する予定です。



拡張前

## ➤ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 平成25年3月31日 現在	前期 平成24年3月31日 現在	科目	当期 平成25年3月31日 現在	前期 平成24年3月31日 現在
<b>(資産の部)</b>	<b>55,382,073</b>	<b>58,534,009</b>	<b>(負債の部)</b>	<b>40,226,059</b>	<b>43,347,523</b>
流動資産	23,468,318	26,822,941	流動負債	23,783,865	27,207,032
現金及び預金	4,028,443	5,452,300	支払手形及び買掛金	9,448,590	11,770,762
受取手形及び売掛金	10,023,843	11,367,032	短期借入金	11,975,368	12,926,532
商品及び製品	3,995,411	3,798,083	リース債務	72,605	68,589
仕掛品	3,700,213	3,960,608	未払法人税等	95,601	132,159
原材料及び貯蔵品	1,127,244	1,058,081	賞与引当金	256,459	283,891
繰延税金資産	323,730	457,541	その他	1,935,239	2,025,096
その他	330,730	815,938	固定負債	16,442,194	16,140,490
貸倒引当金	△ 61,299	△ 86,645	長期借入金	11,362,257	10,792,189
固定資産	31,913,755	31,711,067	リース債務	137,575	135,580
有形固定資産	28,083,733	28,071,700	繰延税金負債	88,100	68,936
建物及び構築物	4,112,324	4,200,598	再評価に係る繰延税金負債	3,533,526	3,533,526
機械装置及び運搬具	5,649,043	5,852,824	退職給付引当金	1,269,053	1,539,619
土地	16,454,738	16,513,568	資産除去債務	32,337	31,762
建設仮勘定	1,499,024	1,117,107	その他	19,344	38,876
その他	368,603	387,601	<b>(純資産の部)</b>	<b>15,156,014</b>	<b>15,186,486</b>
無形固定資産	154,448	202,324	株主資本	9,328,010	9,655,494
投資その他の資産	3,675,572	3,437,042	資本金	6,857,000	6,857,000
投資有価証券	2,201,659	1,957,471	資本剰余金	986,351	986,351
長期貸付金	17,697	23,988	利益剰余金	1,493,394	1,820,620
繰延税金資産	1,252,257	1,228,561	自己株式	△ 8,734	△ 8,477
その他	254,961	301,663	その他の包括利益累計額	5,828,003	5,530,992
貸倒引当金	△ 51,002	△ 74,641	その他有価証券評価差額金	515,131	354,397
資産合計	55,382,073	58,534,009	繰延ヘッジ損益	△ 3,431	△ 10,074
			土地再評価差額金	5,357,880	5,357,880
			為替換算調整勘定	△ 41,576	△ 171,210
			負債・純資産合計	55,382,073	58,534,009

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

### POINT

期末日満期手形は、手形交換日をもって決済処理しておりますが、当期末日は金融機関の休日でありましたため、期末日満期手形が以下の科目に含まれております。また、このことで、連結計算書類上は、

売上債権が増加し、営業活動によるキャッシュ・フローを悪化させております。

受取手形 798,093千円  
支払手形 117,858千円

## ▶ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	38,083,043	41,637,736
売上原価	32,885,631	35,794,815
売上総利益	5,197,411	5,842,921
販売費及び一般管理費	5,083,425	5,312,779
営業利益	113,986	530,141
営業外収益	261,809	192,157
受取利息及び配当金	52,946	50,958
受取賃貸料	64,267	65,258
スクラップ売却収入	49,835	53,636
その他	94,760	22,304
営業外費用	531,414	584,664
支払利息	235,704	264,956
退職給付費用	257,319	257,319
その他	38,389	62,389
経常利益又は損失(△)	△ 155,617	137,634
特別利益	36,664	3,637
特別損失	43,557	42,435
税金等調整前当期純利益又は損失(△)	△ 162,511	98,836
法人税、住民税及び事業税	112,094	147,514
法人税等調整額	52,619	27,164
当期純損失	327,225	75,842

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	254,806	△ 658,285
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,246,813	△1,415,943
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 462,244	560,036
現金及び現金同等物に 係る換算差額	57,921	△ 19,296
現金及び現金同等物の 増減額(減少は△)	△1,396,330	△1,533,488
現金及び現金同等物の 期首残高	5,349,299	6,882,788
現金及び現金同等物の 期末残高	3,952,968	5,349,299

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ➤ 貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成25年3月31日 現在	平成24年3月31日 現在
<b>(資産の部)</b>	48,049,761	50,974,540
流動資産	18,128,536	21,186,921
固定資産	29,921,224	29,787,618
有形固定資産	25,693,537	25,762,800
無形固定資産	125,828	166,309
投資その他の資産	4,101,858	3,858,508
資産合計	48,049,761	50,974,540
<b>(負債の部)</b>	34,235,258	36,784,272
流動負債	18,978,299	21,932,261
固定負債	15,256,958	14,852,011
<b>(純資産の部)</b>	13,814,502	14,190,267
株主資本	8,057,149	8,561,203
資本金	6,857,000	6,857,000
資本剰余金	986,351	986,351
利益剰余金	222,533	726,329
自己株式	△ 8,734	△ 8,477
評価・換算差額等	5,757,353	5,629,064
その他有価証券評価差額金	399,473	271,184
土地再評価差額金	5,357,880	5,357,880
負債・純資産合計	48,049,761	50,974,540

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ➤ 損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	30,790,161	34,192,131
売上原価	27,396,080	30,413,822
売上総利益	3,394,081	3,778,309
販売費及び一般管理費	3,556,105	3,701,957
営業利益又は損失(△)	△ 162,024	76,351
営業外収益	314,367	303,515
営業外費用	571,464	631,816
経常損失	419,121	251,948
特別利益	35,885	—
特別損失	40,716	34,464
税引前当期純損失	423,951	286,412
法人税、住民税及び事業税	21,500	21,500
法人税等調整額	58,344	71,237
当期純損失	503,796	379,150

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



### 福島工場精密異形鋼連続焼鈍（熱処理）ライン

当社の高精度の精密異形圧延技術及び表面品質の全長保証体制構築による受注獲得で、新たに事業化したしました自動車用無段変速機向け精密異形鋼用の新設連続焼鈍ラインです。

従来は、精密異形圧延は福島工場、焼鈍は板橋工場で行っていましたが、今後予想される需要の増加を踏まえ、十分な生産能力を持った連続焼鈍ラインを設置し、この4月より稼働を開始しました。

これにより、福島工場で一貫生産が可能となるだけでなく、生産能力は4倍強に増え、操業時の管理も電子データ化を進めたことで更に信頼度の高い熱処理が可能となりました。



### 新マグネシウム合金帯LZ91が2013年度国際マグネシウム協会賞受賞

本表彰は世界中のマグネシウム業界各社の活動に関し、「革新的な技術の提案と実績」を評価するものです。



2013年度は世界各国から5社が表彰され、日本からは唯一日本金属が選ばれました。表彰テーマは「Practical use and mass production technology of LZ91 (9%Li+1%Zn) alloy (LZ91マグネシウム合金の実用化と量産技術)」です。

本表彰は、日本金属の新製品であるLZ91マグネシウム合金が、NECの13インチサイズ世界最軽量UltrabookノートパソコンであるNEC Lavie Zに採用された量産実績が評価されたものです。

LZ91マグネシウム合金は商業ベースの実用金属で最軽量の金属で、日本金属が世界で初めて量産販売しました。



## ⇒ 会社概要 (平成25年3月31日現在)

創 業	昭和5年11月10日
設 立	昭和14年12月2日
本 店 所 在 地	東京都板橋区舟渡四丁目10番1号
本 社 事 務 所	東京都港区芝五丁目30番7号 電話 (03) 5765-8111 (大代表)
資 本 金	68億5千7百万円
連結従業員数	755名
当社従業員数	463名

## ⇒ 役員 (平成25年3月31日現在)

取締役社長 (代表取締役)	平石政伯	常務取締役	鈴木 卓
専務取締役	江藤哲雄	常務取締役	根本恵央
専務取締役	泉 正樹	監 査 役 (常 勤)	大橋信昭
専務取締役	安武雄二	監 査 役	石橋國興
常務取締役	山崎一正	監 査 役	三島清隆
常務取締役	石塚 雄		

(注) 監査役石橋國興及び三島清隆の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

※1. 平成25年4月1日付で以下のとおり、取締役の地位の異動がありました。

専務取締役	山崎 一正
取 締 役	江藤 哲雄
取 締 役	石塚 雄

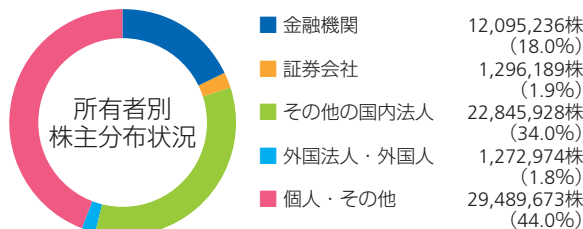
※2. 平成25年6月27日付で取締役江藤哲雄及び石塚雄の両氏はそれぞれ退任されました。

## ⇒ 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 240,000,000株
- 発行済株式総数 66,955,232株  
(自己株式44,768株を除く)
- 株主数 7,469名  
(うち、単元株主数 6,821名)
- 大株主

株 主 名	持株数	持株比率
	千株	%
新日鐵住金ステンレス株式会社	8,725	13.0
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	3,787	5.6
日本金属取引先持株会	2,978	4.4
JFE商事株式会社	2,820	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,584	2.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,124	1.6
日新製鋼株式会社	1,000	1.4
株式会社みずほコーポレート銀行	1,000	1.4
富国生命保険相互会社	904	1.3
西松建設株式会社	900	1.3

(注) 持株比率は自己株式(44,768株)を控除して計算しております。



## ➡ 事業所 (平成25年3月31日現在)

- ◆ **本社事務所**  
東京都港区芝五丁目30番7号  
〒108-0014 電話 (03) 5765-8111 (大代表)
- ◆ **東京支店**  
同上
- ◆ **大阪支店**  
大阪府大阪市中央区本町二丁目6番8号 センバセントラルビル  
〒541-0053 電話 (06) 6282-6188 (代表)
- ◆ **名古屋営業所**  
愛知県名古屋市中区新栄町一丁目1番地 明治安田生命ビル  
〒460-0004 電話 (052) 962-6671 (代表)
- ◆ **東北営業所**  
宮城県仙台市青葉区中央四丁目6番1号 住友生命仙台中央ビル  
〒980-6021 電話 (022) 711-3431 (代表)
- ◆ **板橋工場**  
東京都板橋区舟渡四丁目10番1号  
〒174-8560 電話 (03) 3968-6300 (代表)
- ◆ **岐阜工場**  
岐阜県可児市姫ヶ丘二丁目24番地  
〒509-0249 電話 (0574) 63-1071 (代表)
- ◆ **福島工場**  
福島県白河市東釜子字鹿島1番地  
〒961-0303 電話 (0248) 34-2961 (代表)



東北営業所

福島工場

板橋工場

本社事務所・東京支店

岐阜工場

名古屋営業所

大阪支店

## ➤ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り方法 の変更等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 フラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります。)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

単元株式数 1,000株

公告方法 当社のホームページ (<http://www.nipponkinzoku.co.jp>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場取引所 東京証券取引所市場第1部

## ➤ ホームページのご案内



<http://www.nipponkinzoku.co.jp>

## ➤ 主要製品

部門	主要製品
みがき帯鋼	冷間圧延ステンレス鋼帯、みがき特殊帯鋼、マグネシウム合金帯
加工品	型钢・精密異形鋼等ロール成形品、ステンレス精密細管、電磁製品



# 日本金属株式会社

本社 〒108-0014 東京都港区芝五丁目30番7号  
 TEL. (03) 5765-8111 (大代表) FAX. (03) 5765-8116

<http://www.nipponkinzoku.co.jp>